

# 令和7年度 唐津市立巖木小中学校 教育研究計画

## 1 研究主題名

「主体的、協働的に学ぶ児童・生徒の育成」

～ 9年間の系統性を意識した学習づくりと心づくり ～

## 2 研究主題設定の趣旨

昨年度から、旧巖木小学校と旧簗木小学校が統合して新たに巖木小学校となり、巖木中学校とともに併設校としてスタートした。一昨年度まで3校は、巖木町園小中連携に関する基本方針を基に、年3回の全体の会議や合同の研修、公開授業、校区内の合同清掃活動といった小中連携に関する取組を進めてきてはいたが、校内研究に関しては、各学校の実状や課題に即した研究主題や目標を基に、それぞれ異なる研究と取組を行ってきた。

小中3校が併設校となったことで、校内研究も一緒に進めることとなった。最初は、研究の方向性も手探りではあったが、大きく「授業づくり」と「生活づくり」の2つの柱を中心に、小中が連携協力しやすいという強みを生かしながら、研究と取組を進めることとした。

まず、「授業づくり」においては、各教科における9年間の系統性や単元の内容を見通した授業のあり方に焦点をあてて、取組を進めた。特に、小・中学校職員によるティームティーチングの授業実践と授業公開、授業で活かせるICTに関するスキルアップを目指した職員研修などに取り組んだ。

次に、「生活づくり」においては、自他を尊重し協働して生活できる態度を育むために、立腰教育を小中共通の取組として進めたり、合同清掃活動や人権集会、放送活動など児童と生徒が連携・協力できる行事や活動を模索し実践したりした。

「授業づくり」と「生活づくり」の柱を中心に研究と取組を進めたことで、小中間の結びつきもかなり強まり、児童・生徒に対する互いの情報の共有がよりできて、小中の職員が9年間を見通しながら児童・生徒を育成しようとする意識が高まってきた。

本年度については、昨年度の研究と取組をさらに発展させるべく、「授業づくり」は「学習づくり」として、「生活づくり」は「心づくり」として研究を進めることとした。学習面では、授業のあり方や改善に関することはもとより、児童・生徒の学力向上や自ら学び続けようとする意識の高揚、学習環境の整備など、学習全般に視野を広げて取組を進めたいと考えている。また、生活面では、立腰教育はもとより、言葉遣いや挨拶などの基本的な生活全般に関すること、児童と生徒が連携・協力した行事や活動をさらに推進させることなどに重点を広げたいと考えている。

以上のような研究の方向性を踏まえ、小中が今後もより一層連携協力しあい、9年間の発達段階に応じた指導や教育活動を実践していくことで、主体的・協働的に学ぶ児童・生徒の育成を目指したいと考え、本主題を設定することとした。

### 3 研究組織

研究推進委員会
校長、各教頭、各教務、研究主任、研究副主任、各部長

学習づくり	心づくり
白木 江口 中尾 宮田 谷口 小野 塚原 鶴田 久我 近藤	片渕 松下 中島 仁部 原 溝口 畑島 北川 田中 吉村
重点目標 各教科における9年間の系統性や単元内容を見通した学習づくり	重点目標 自他を尊重し、協働して生活しようとする態度の育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善 (9か年、単元、指導案)</li> <li>・自主学習ノート、Qフレンズ</li> <li>・教室や校内の学習環境整備</li> <li>・ICT研修</li> <li>・学習状況調査分析・共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活規律 (立腰、挨拶、言葉遣い)</li> <li>・小中合同清掃活動</li> <li>・小中合同人権集会</li> <li>・児童会・生徒会の連携</li> <li>・家庭学習の習慣化</li> </ul>

### 4 研究内容

- (1) 各教科における9年間の系統性や単元内容を見通した学習づくり
  - ・基本の授業家庭の統一「つかむ」「考える」「深める」「振り返る」
  - ・一人一台端末の活用場面の工夫
- (2) 自主学習ノートの工夫や「Qフレンズ」の継続や学習環境整備による児童生徒の自主的に、見通しをもって学習に取り組む能力の育成
- (3) 全国学習調査や県学習調査や「唐津の学びスタイル」アンケート分析による検証
- (4) 児童会・生徒会の連携や児童・生徒の活躍・承認する場面の設定の工夫
- (5) 小中連携し、9年間を通した生活規律や学習習慣への指導の効果検証

### 5 期待される成果

- ・小中職員の異文化・相互理解
- ・小中連携した授業改善による学力向上
- ・児童、生徒の実態の詳細把握による個別最適な指導
- ・児童、生徒、職員のICT利活用力の向上
- ・9年間を通した学習習慣の確立
- ・9年間を通した児童、生徒の道徳心の向上
- ・小6児童の中学進学へ向けての不安感の軽減・解消